News Release

2026 年 9 月 29 日
株式会社ジインズ

統合 ID 管理システム「ADMS」、「Soliton OneGate」との連携モジュールを提供開始

― 人事情報を起点に、OneGate のアカウント・利用権限管理を自動化 ―

株式会社ジインズ（本社：山梨県笛吹市、代表取締役：廣瀬 光男、以下、ジインズ）は、株式会社ソリトンシステムズ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鎌田 理、以下、ソリトン）が提供するクラウド認証サービス「Soliton OneGate（以下、OneGate)」と、ジインズの統合 ID 管理システム「ADMS」を自動連携する「OneGate 連携モジュール」を、2026 年 10 月 1 日より提供開始します。

ジインズとソリトンは、これまでも PC ログイン認証「SmartOn」と「ADMS」の製品連携を通じて協業しており、本連携は、こうした両社の取り組みを OneGate へ広げるものです。

本モジュールにより、ADMS で管理する人事・組織情報を基に、入社・異動・退職に伴う OneGate 利用者の追加・変更・削除を自動化できます。さらに、OneGate 上のアプリケーションロール、Web アプリ、IC カードなどの割り当ても ADMS から一括して反映できます。

これにより、ADMS を起点に OneGate のアカウント・利用権限を一元的に管理でき、管理者の手作業や二重管理を削減するとともに、退職者アカウントの残留や異動後の権限削除漏れなどのリスク低減を支援します。

■ 背景

企業や自治体では、入社・異動・退職や組織改編に伴い、複数のクラウドサービスや業務システムに対して、アカウントや利用権限を適切に変更する必要があります。
ADMS は、人事システムなどから取得した ID 情報を統合し、Active Directory、Microsoft 365、各種業務システムのアカウントを一元的に管理する統合 ID 管理システムです。
今回、ADMS の連携先に OneGate を加えることで、人事情報を起点とした ID 管理の対象を、クラウド認証やシングルサインオンに利用する OneGate のアカウント・利用権限まで拡大します。

■　連携の概要

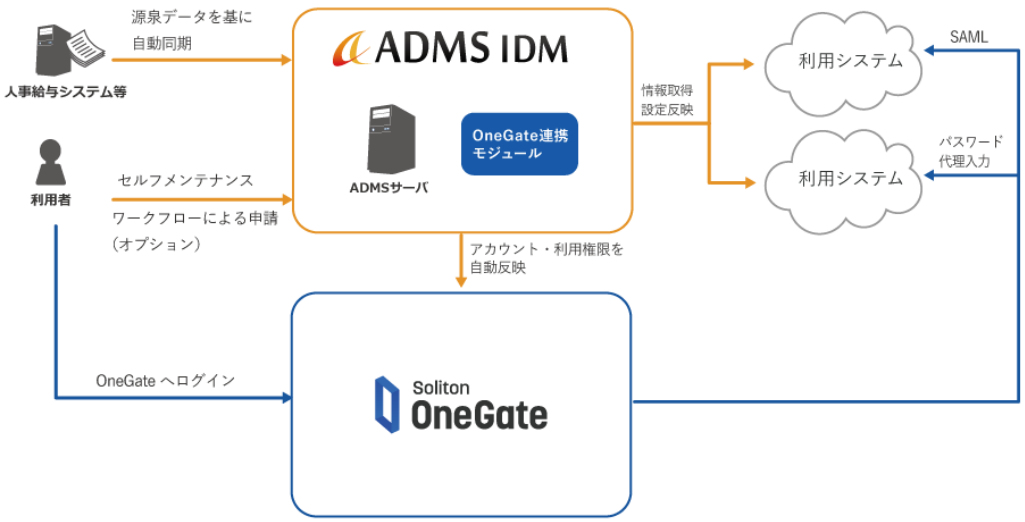
本連携は、ADMS の標準機能である「他システム連携」と、専用の OneGate 連携モジュールを組み合わせて実現します。
ADMS のプロビジョニング時に連携対象となる差分データを CSV 形式で出力し、専用の連携ツールが OneGate の Web API を介して利用者情報を反映します。

ADMS から OneGate へは、主に以下の情報・設定を反映できます。

- 利用者の新規追加、変更、削除
- ログイン名、氏名、メールアドレスなどの基本情報
- 初期パスワードの設定、パスワードのリセット・変更
- 管理タグ、アカウント属性、SSO アカウント属性などの各種属性
- アプリケーションロールの割り当て
- Web アプリおよび WebSSO ID の設定
- IC カードの割り当て

アプリケーションロールでは、Microsoft 365、Google Workspace、Cybozu.com、Salesforce、PasswordManager などについて、利用の有効・無効を設定できます。
また、OneGate が保持する利用者情報を CSV 形式で取得し、ADMS への取り込みや登録情報の突合、アカウントや利用権限の棚卸しなどに活用できます。

ADMS を起点に OneGate のアカウント・利用権限を一元管理可能に



■　主な特長

1.　人事情報を起点に OneGate の運用を自動化

ADMS で管理する ID 情報を基に、入社・異動・退職に伴う OneGate 利用者の追加・変更・削除を自動的に反映します。
人事異動や組織改編の際に、OneGate へ利用者情報を個別に登録・変更する作業を削減できます。

2.　アカウントと利用権限を一括管理

利用者情報だけでなく、OneGate 上のアプリケーションロール、Web アプリ、IC カードなどの割り当ても ADMS から反映できます。
「誰が、どのサービスやシステムを利用できるか」を、人事・組織情報と連動して管理できます。

3.　Active Directory に依存しない運用に対応

ADMS は、人事システムなど複数の情報源から ID 情報を統合できます。
Active Directory を利用していない環境や、Active Directory への依存を減らしている環境でも、ADMS から OneGate のアカウント運用を自動化できます。

4.　個別開発を伴わずに導入可能

ADMS の標準機能と専用の連携モジュールを組み合わせるため、新たな連携システムを個別に開発する必要がありません。
導入時には、環境に応じた連携項目の設計・設定を行います。

5.　アカウントや権限の残留リスクを低減

人事情報を起点に OneGate へ反映することで、転記ミスや設定漏れを減らし、退職者アカウントの削除漏れや異動前の権限残留リスクを低減します。

■ 両社代表コメント

株式会社ソリトンシステムズ　代表取締役社長　鎌田 理

「今回、ジインズ様の ADMS と OneGate が連携し、人事情報を起点とした ID 管理から認証・アクセス管理まで、より効率的な運用が可能になることを大変うれしく思います。
これまでの SmartOn との連携に加え、OneGate でも協業が広がることで、両社の強みをより生かせるものと期待しています。今後も、お客様の安全で利便性の高い IT 環境の実現に貢献してまいります。」

株式会社ジインズ　代表取締役　廣瀬 光男

「セキュリティの根幹となる認証基盤を国産でそろえたいというのは、多くのお客様のご要望でした。人事情報を起点としたアカウント管理を得意とする ADMS と、認証に強みを持つ OneGate が補い合うことで、国産の認証基盤をご提供できることを大きな喜びと感じています。ソリトン様とともに、お客様にご満足いただけるソリューションを提供してまいります。」

■　製品概要

- 名称：ADMS IDM OneGate 連携モジュール
- 提供開始日：2026 年 10 月 1 日
- 提供形態：買い切りライセンス
- 価格：300,000 円（税抜）

本モジュールの利用には、別途、ADMS 基本ライセンスおよび CSV 出力・外部コマンド実行モジュールが必要です。また、導入時には連携項目の設計・設定に関する役務サービスと、年間保守サポートサービスの購入が必要です。

※　OneGate の利用には、別途ソリトンとのサービス契約が必要です。

■　今後について

ジインズは今後も、クラウドサービスや認証基盤との連携を拡充し、人事情報を起点としたアカウント・利用権限管理の効率化を支援してまいります。
ソリトンとジインズは、本連携を通じて、企業や自治体における ID 管理と認証・アクセス管理の適正化を推進します。

ADMS について

ADMS は、人事システムなどの情報を基に、Active Directory、Microsoft 365、グループウェア、メールサーバなど、複数システムのアカウントを一元的に管理する統合 ID 管理システムです。
入社・異動・退職や組織改編に伴うアカウントおよび権限の変更を、各システムへ反映できます。
https://adms.jins.co.jp/

Soliton OneGate について

Soliton OneGate は、デジタル証明書を利用した多要素認証と、クラウドサービスおよび社内業務システムへのシングルサインオンを提供する国産 IDaaS です。
利用者と端末を適切に認証し、クラウドサービス、Web アプリケーション、ネットワークなどへの安全なアクセスを支援します。
https://www.soliton.co.jp/onegate/

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ジインズ
システムソリューション本部 営業企画室
Tel：055-225-3481
E-mail：adms-sell@jins.co.jp

【Soliton OneGate に関するお問い合わせ先】
株式会社ソリトンシステムズ
IT セキュリティ事業部
Tel：03-5360-3811
E-mail：netsales@soliton.co.jp